

行政視察 報告書

- 1 視察年月日 令和4年5月17日(火) 14:00～16:30
- 2 視察先等 志木市立いろは遊学館・いろは遊学図書館・志木小学校
- 3 視察者 加茂市教育委員会事務局 山川教育長・草野庶務課長・阿部学校教育課長・長澤庶務課課長補佐

4 視察の概要

○ 視察先

志木市立いろは遊学館・いろは遊学図書館・志木小学校

○ 目的

加茂市では小中学校の適正配置について検討しているが、他公共施設の老朽化も問題視されている。埼玉県志木市における先進的な取り組み（小学校と公民館、図書館を複合化し、地域と一体となった教育活動を展開）を学ぶ。

○ 説明

- 志木市においても昭和40年代の高度成長期を中心にインフラを整備したが、少子高齢化に伴う需要の変化、維持改修費の増大等の問題を抱えていた。
- 特に、志木小学校・志木公民館・志木図書館の老朽化・耐震化問題の解消を図るため、3施設の複合化を検討、学社融合の教育施設を目指した。
- 教育長の「これからの学校教育は、地域の協力のもとに行い、地域で子どもたちを守り育てる」「子どもの安全性も複合施設となれば、大人の目が多くなり小学校単独よりも高まる」という強い思い。

- H9.5…庁内プロジェクトチーム設置、H11.1…市民検討委員会設置、H11.3…基本構想策定、H11.7…プロポーザルによる設計者選定、H15.3…合同竣工式（約6年経過）

・建設に係る経費

・支出額	3,261,354千円
・歳入額	
国庫支出金	524,482千円
県補助金	49,400千円
地方債	1,786,000千円
一般財源	901,472千円

- 防犯対策：1校2館の複合施設では多数の職員が配置されるとともに利用者である市民を含めた多くの大人の目があることから、学校単独施設よりも安全性が高まっているのではないかと。 (他、防犯監視カメラ設置、警備員の常駐、全職員PHS所持、入館証着用、年3回合同避難訓練実施により大小合わせて事件は1件も起きていない。)
- 学校の特別教室の有効活用により、市民の生涯教育をより積極的・効率的に推進している。(小学校にも、休館日には公民館・図書館を寡占できるというメリットあり。)
- 地下に防災倉庫を備え、災害対策本部機能を持ち、地域のコミュニティ形成に貢献している。
- 期待できる教育効果：学社融合事業の展開（祭り、人権講座、給食等における交流）⇒施設内の人的・物的のすべてが教材に
 - 学校と公民館・図書館との交流を通じて子ども達の学習・体験活動の幅を広げ、「学校教育の社会化」を展開する。
 - 地域の方々が生涯学習の一環として施設を利用するなかで児童との交流が図られ、児童と市民の双方の教育の相乗効果が期待できる。

埼玉県志木市

市制施行	昭和45年10月26日
面積	9.05k㎡
人口	76,349人(R4.4.30現在)
児童数	4,134人(R4.4.1現在)
生徒数	1,751人(R4.4.1現在)
学校数	小学校：8校(151学級) 中学校：4校(56学級)
世帯数	35,872世帯(R4.4.30現在)

志木市立志木小学校

創立	明治7年7月
児童数	850人(26学級+特支4学級)
※ベッドタウン化→5年後には200～300人増?	





左) 小学校 右) 公民館・図書館



普通教室棟はオープスタイルで廊下側の間仕切り無し



開放的な職員室



小学校⇄図書館 行来は自由



図書館 休み時間は児童が受付の手伝いもする



特別教室は一般市民と併用



小学校入口の警備員室



監視カメラ映像は公民館事務室で随時確認